

第1回環境審議会

「環境基本計画の見直しについて」【議事要旨】

1 主旨説明（事務局）

「環境審議会の役割」と「第2次富士見市環境基本計画（案）」について説明。

(1) 環境審議会の役割…別紙

主に、第2次環境基本計画（案）策定に係る環境審議会の役割を説明。

⇒ 環境基本計画については、環境基本条例27条において環境審議会（以下、「審議会」という）に意見を伺うことになっており、現在実施中のパブリックコメント終了の後、市長からの諮問に対して審議会として答申を頂くことになる。

(2) 第2次環境基本計画（以下、「基本計画」という）の説明…別紙

基本計画の策定目的と内容について概要を説明。

※基本計画（案）は、事前に配布資料として各委員に提示した。

2 質疑応答

委員：基本計画（案）において温室効果ガスの数値がきれいに記載されているが、どのように算出されたものなのか？

例えば、富士見市内のエネルギー排出量の実態を捉える際、市内における自動車燃料消費を考えると、市内のエネルギー排出として判断するのか、移動先での判断するのかなど、非常にその算出が困難となる。

細かい現場のデータの積み重ねであれば、10年後の効果などの推移を見ることができると思うが、仮に理論値であると数字は細かいが、そのデータが大雑把であると検証が難しくなってしまうのではないかと？

事務局：住宅や工場の数などを積み上げた理論値となっている。

委員：環境家計簿のデータは行政として何かに反映しているのか

事務局：啓発的な目的や市の施策に活用している。例えば太陽光発電システム設置奨励金がひとつの例。今回のデータ積算の資料としては捉えていない。

委員：データは何かに活用して欲しい。

委員：環境家計簿が更に発展していただければと思う。

事務局：貴重なご意見として伺います。

委員：47ページで「各担い手の実践行動」として、市民に「敷地は舗装を最小限にし…」とあるが、一方で行政には関連した項目の記載が見受けられ

ない。本来であれば、面積の多い道路については、より浸透性を求めることが望ましいと思う。他の項目も含めて、施策の展開をどう進めていくかよく考えるべきであり、基本計画にその旨の記載も必要と考える。

また、基本計画の点検は誰がやるのか。富士見市環境施策推進市民会議（以下「市民会議」という。）では現状できていない。この記載どおりに実施するのであれば、その方法をもう一度考えるべき。

事務局： 基本計画の進行管理は、庁内検討組織である「環境にやさしい都市づくり検討委員会」で取りまとめる。それを市民会議の中で、推進委員会などを通じて点検評価ができるように、市民会議と相談をします。

委員： 市民会議は、施策体系とあまり連動していないように感じるので、分科会などを設けるなどして、テーマごとに施策を実行する組織体制を作ることが大切ではないか。現状では、温暖化防止事業しか取り組んでいないように感じる。自然環境であれば、私たち（生態系保護協会）がお手伝いできると思うので、ご検討いただければと思う。

また、望ましい環境像「いのち豊かな里」は、少しイメージしにくい。誰が見てもすぐに分かる文言がいいのではないか？「自然と共生するまち」など。

最後に、市内の生物調査リストがあるようですが、発見された希少種とその場所をどう保全していくのか、施策展開の記載がない。仮に具体的に決まっていないのであれば、希少種とその場所を特定し、保全行動の進行スケジュールやその担当を記載したほうが良いのではないか？

調査資料の活用と行動を結びつけて欲しい。

委員： 25ページに「第1次計画の進捗状況と課題」とあるが、この資料だけでは、どの程度進んでいるのか、実行体系が機能したのか分かりづらい。数値的な目標があり、その達成状況を確認して出された課題なのか？

事務局： 進捗状況を確認する資料を庁内で作成し、策定委員会で審議させていただいたものです。

委員： 他の自治体の基本計画や年次報告には、大きな方針のみを掲載しているものや、担当部署ごとに細かい数値目標や達成状況を記載しているものまで様々なものがある。

今回の基本計画のように、細かい数値を記載しないという方針もよいと思うが、各施策を展開していくなかで、事業計画の進捗状況の確認方法や評価の仕方が課題となってくると思う。

現状、この基本計画を見ると、温暖化については細かい数値が出ているものの、全体的に自己点検評価や具体的な達成状況についてどのように把

握し、次につなげていくかといった方向性を示す文言がないことから、進捗状況や課題についてどのように解釈すべきか分かりづらくなっている。基本計画策定の意図と、単年度ごとの進捗管理等について明記しておくことが親切だと思う。

委員： 単年度ごとの進捗管理等については、策定委員会の中で「富士見市の環境」を用いることで了解されている。

また、細かい資料は現在検討中であるが、基本計画にはあまり詳細なデータは記載せずに、資料編のようなものを作成する予定となっている。

事務局： 資料編は作成する予定だが、生態系は希少種の場所が特定されてしまう可能性もあり、その掲載内容には検討が必要である。

また、進捗管理については、例えば行政が担う部分で見ると、すぐ実施できるものから長期的なものまで幅広いので、整理させていただいて実行計画のようなもので管理できるようにしていきたい。

委員： 「富士見市の環境」に掲載されている情報と第1次環境基本計画が一致していない。結果や進捗状況が分かる状態が必要ではないか？

委員： 実施計画の作成予定はあるか。

事務局： 平成25年度に実施計画も含め、進捗管理できるように整理していく。

事務局： 第1次環境基本計画は、施策等内容が多かったが、それをどう実行していくか明確になっておらず、取り組みやすいところを中心に実行してきた。

今回の基本計画については、前回の課題を踏まえ、より分かりやすく、より評価ができるような取り組みをしっかりと位置づけて作成させていただきましたが、委員の皆さんのご意見を伺っていると、施策等をどのように実行していくかが分かりづらくなっている。

今後、基本計画の中で計画の実行イメージや点検評価イメージについて、分かりやすく総論的なものを記載しつつ、併せて資料編と実行計画といったものを補足資料として基本計画とセットで見られるように整理させていただき、次回ご意見を伺いたい。

委員： 13ページに湧き水が2箇所消失したとあるが原因は何かわかるか？

事務局： 現地調査は行っているが、原因の根源はわからない。